

地域・学校協議会の活動推進キャッチフレーズ

鯖江市東陽中学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

| 項目 | 回数 |
|---------------|-------------|
| 地域・学校協議会 | 3回 |
| 中学校区を単位とした協議会 | 0回 |
| 地域及び家庭への学校公開 | 11回(のべ) 13日 |

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

| | |
|-----------------|------|
| 講師・ゲストティーチャー | 26人 |
| 授業ボランティア(含:低ボラ) | 8人 |
| 登下校支援ボランティア | 15人 |
| その他(部活動指導) | 108人 |

(3) 特色ある活動

テーマ 「心の教育の充実」

具体的活動内容

1. PTAや地域と連携した講演会の実施

夏季休業中の夕方、学校やPTA、地域学校協議会委員を対象に、子どもたちが安全にインターネットを利用するにはどのような点で配慮したらよいかや、現在、子どもたちがどのようなネットやソフトを活用しているかなど実際に画面を見ながら説明を受けた。インターネットにおける有害環境の現状や子ども被害事例、加害事例などを報告して頂きながら、改めて、地域全体で、フィルタリングや、マナーとルールの教育に取り組む必要性があると感じ合った。



2. 他校部活との協力



鯖江市内の中学校の吹奏楽部の生徒同士が協力してコンサート「はーとフルコンサート」を開き、東日本大震災で被災した吹奏楽部の仲間へ義援金を送ろうと企画した。このコンサートチケットは、各学校の生徒会や保護者、地域の方々、公共機関などの協力を得て、数多く販売し、目標以上の義援金を送ることができた。生徒は当初の思いを達成することができ、協力の大切さと相手を思いやる大切さを感じることができた。

成果と課題

- ・中学生の地域参加については、地区の公民館との連携もうまくいっており(校長や教頭が公民館運営協議会の委員)、この校区においては着実に定着している。
- ・地域学校協議会の委員の多くは、他の役職を兼務しており、会議等に全員が揃わないのが課題としてあげられる。生徒の活動をしっかり見ていたいただいた上で客観的な評価やご意見をお願いしたいが、平日に頻繁に学校に足を運んでいただくことは難しい。しかし可能な限り、連絡を取り合っていきたい。